北海商科大学　講義概要（シラバス）

2026年度

科目名	異文化ゼミナール	科目コード	1152	単位数	2
担当者名	坂口　可奈	開講セメスター	第2セメスター	開講年次	1年次
授業の方法	演習	到達目標	B	実務経験	無
ナンバリング	BSe202	※DP（ディプロマポリシー）と到達目標の関連性については、カリキュラムマップ参照			

授業のねらい

YouTubeやTikTokを見て知識を得た気になっている学生も多いのではないか。しかし、大学生であるからには、本と格闘しながら知識を身につけ、疑問を抱き、自分の頭で考え、そして、学友と議論するという経験をしてほしい。また、AIに頼らずに自分の主張を論理的に文章化する力をつけてほしい。このゼミは、東南アジア地域に関する文献の講読と研究発表を行うことで、東南アジア地域についての基礎知識を身に着けるとともに上記の能力を伸ばすことを目的とする。

到達目標

・東南アジア地域の文化や政治社会の基礎を理解できるようになる
・文章作成の基礎を身に着ける
・自分の意見を論理的に説明できるようになる
・自身の興味関心に基づいて問いをたて、その問いに基づく調査研究の成果を他人にわかりやすく伝えられるようになる

授業内容

1週目 イントロダクション
2週目 文章作成の基礎
3週目 文献輪読　第1章、第2章
4週目 文献輪読　第3章、第4章
5週目 文献輪読　第5章、第6章
6週目 レポート講評会
7週目 地域研究について１（地域研究とはなにか）
8週目 地域研究について２（問題意識と問いの設定）
9週目 地域研究について３（資料を探す）
10週目 地域研究 発表１（東南アジアの政治）
11週目 地域研究 発表２（東南アジアの歴史）
12週目 地域研究 発表３（東南アジアの文化）
13週目 地域研究 発表４（東南アジアと日本）
14週目 地域研究 発表５（受講生の興味関心に基づきテーマを設定する）
15週目 地域研究 レポート講評会
16週目 今後の学習にむけて（ただし、やむを得ず15週の授業を行えない場合は補講を行う）

準備学修（予習・復習）の具体的な内容及びそれに必要な時間

予習：指定された文献をよみレジュメにまとめること（2.5時間程度）
復習：発表において指摘された点を各自改善すること（0.5時間程度）

成績評価の方法・基準

報告と議論への参加度50%
レポート50%

履修上の留意点

１．１２週以上出席していること、レポートを提出していること、割り当てられた報告を全て終えていることの３点を満たした者のみ評価対象とする
２．欠席する場合は必ず事前にメールで連絡すること

課題に対するフィードバックの方法

毎週の授業冒頭に、前週の課題に対してのフィードバックを口頭で行う
報告について：その授業の最後に口頭でフィードバックを行う
レポートについて：講評会でフィードバックを行う

テキスト

1週目のゼミで決定する

参考書

苅谷剛彦『知的複眼思考法 誰でも持っている創造力のスイッチ』講談社880円
伊丹敬之『創造的論文の書き方』有斐閣1700円

更新日付

2026/01/25 07:08